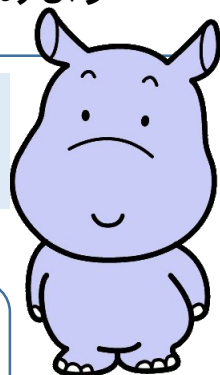


学習のめあて

下水道を支えているしごとと人について学んでみよう

かばのだいちゃんが、生活に身近な下水道についてせつ明してくれます。だいちゃんの話をよく聞いて、「水さい生センターのしごと」について、わかったことをまとめましょう。



かばのだいちゃん

()内の正しいほうに○を付けてね



370万人がんでいるよこはま市では、1日に(150万・300万)立方メートルの水がながれている。

水さい生センターは毎日、(24時間・朝9時から夕方5時まで)下水しよ理をしているんだ。

もちろん(台風・きり)なんかが来たらおおいそがし。まちを(しん水・火事)から守るためがんばってるよ

「下水道」にたずさわる人はどのようなしごとをしているのでしょうか。しらべましょう。また、そのしごとが社会にどのようにやく立っているか、考えましょう。

社会には、人のやくに立つしごとが数多くあります。みなさんはどんな人のためにはたらきたいでしょうか。そのしごとのやくわりや目てきをまとめましょう。また、そのしごとをするためにどんなぎじゅつやのう力、こせいをみがくとよいですか。思いつかない場合には、そうじなどの当番や係活どうなど、クラスやクラブ活どう、家庭内での自分の役わりについて、それをせつ明し、だれのやくに立っているか、まとめましょう。

下水道では水の
ちょうさもするよ



横浜市環境創造局